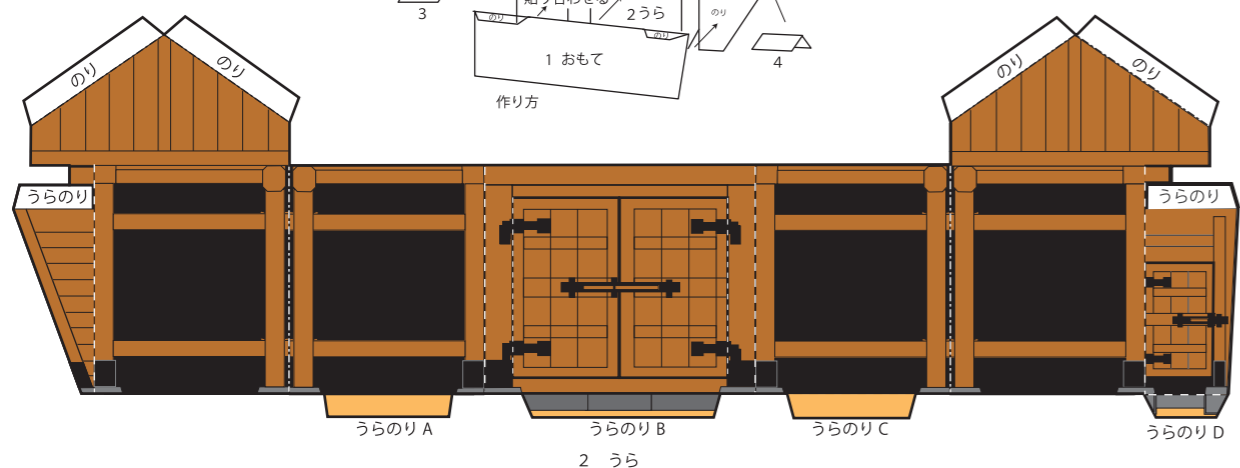
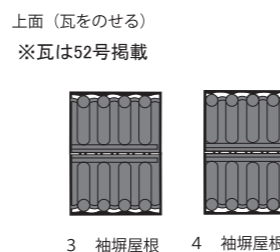
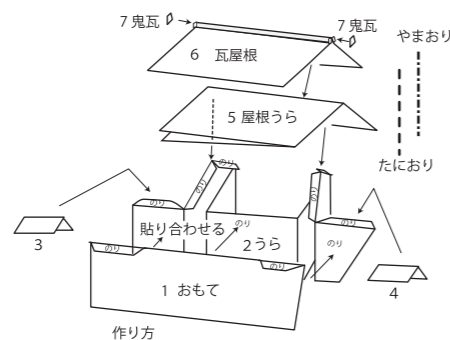
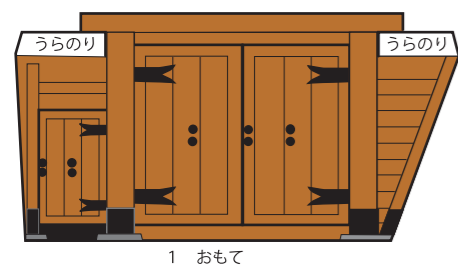
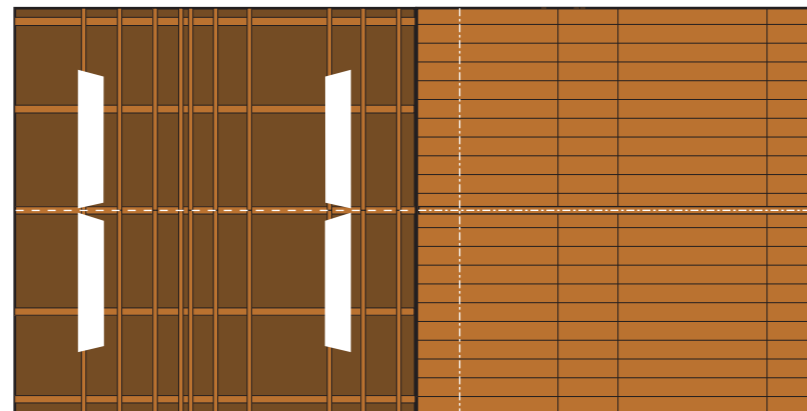
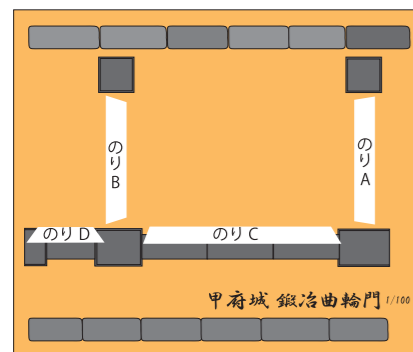


# みんなで作ろう!埋文クラフト 県指定史跡甲府城跡 建物シリーズⅢ

甲府城鍛冶曲輪門を1/100で再現!  
次号掲載の屋根瓦と合体させて、  
鍛冶曲輪門の完全体を完成させよう!



完成図。開門状態も再現可能!  
瓦屋根は次号を待て!



甲府城鍛冶曲輪門 1/100

現在の舞鶴通りぞいにあります。鍛冶曲輪と楽屋曲輪をつなぐ門です。  
明治のはじめまでは残っていたものを絵図や発掘調査の成果をもとに、  
平成8年に復元しました。



鍛冶曲輪門の屋根瓦は、52号に掲載! 52号は、2016年秋刊行予定!

### 編集後記

夏のイベントのために、東洋の星座を勉強していますが、意外に中国由来の星座って多いんですね。北斗七星、牽牛星、織女星などなど。  
イベント「古墳で星空」は、8月7日開催です。(池)

### 埋文やまなし 第51号

発行 山梨県埋蔵文化財センター  
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923  
☎055-266-3016

印刷 峡南堂印刷所

# 埋活!



過去への好奇心は未来への展望  
明日を探すあなたに「埋文やまなし」

## ごあいさつ

本年4月から埋蔵文化財センターの9代目所長に就任した中山です。

昭和57年の開所から14年間埋文センターに勤務し、その後、学術文化課、博物館建設室、県立博物館、学術文化財課を経て、20年ぶりにこのセンターに戻ってきました。20世紀の終わり頃とは、埋蔵文化財行政を取り巻く制度や社会環境、所内の職員の顔ぶれも大きく変わり、「浦島太郎」のような不思議な感覚を感じる今日この頃です。

大規模遺跡の発掘調査、報告書作成ばかりに追われていたかつてのセンター事業も、今や史跡や蓄積された出土品の活用事業にも大きな比重が置かれるようになり、文化財を活かした歴史教育や生涯学習、さらには地域振興への貢献が問われるようになっています。

これらの期待と負託に応えるべく、基礎となる調査研究をさらに発展し、地域の文化資源の発掘と活用に努めたいと世代交代が進む若い職員とともに、気持ちを新たにしています。これからの埋蔵文化財センターにご期待を!! (所長 中山誠二)



1958年新潟県生まれ。山梨県立博物館学芸課長、山梨県学術文化財課文化財指導監を歴任し平成28年度に埋蔵文化財センターに所長として復帰。主な著書に『植物考古学と日本の農耕の起源』